

平成26年10月9日

都内私立中学高等学校
校 長
事 務 長 殿
関 係 職 員

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会
会 長 近 藤 彰 郎
東京私学教育研究所所長 清 水 哲 雄
私学経営研究会委員長 平 美佐子
(共催：公益財団法人 東京都私学財団)

私学経営研究会「事務長研修会」のご案内

－事務局組織の活性化 働きがいのある職場作り－

爽秋の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私学をとりまく環境がますます厳しくなる中、事務長の仕事の重みは増し、事務局の円滑な運営が、今まで以上に求められることが予想されます。

本研修会では一般企業やスポーツチームの組織作りにおいて実績をお持ちの専門家である布施努氏を講師としてお招きし、応用スポーツ心理学やコーチング理論を通じて、仕事・職場でのストレスとうまく付き合う方法を身に付け、それを職場で伝えることで、職場メンバーの個々のパフォーマンスを上げ、チームパフォーマンスを高めることを大きな目的としています。

個々人でも組織でも、健全な危機感と当事者意識を持ち、「元気」を回復することが重要かと思われます。「必要な業務スキルを持つ」と同時に、「自ら動く」「失敗を恐れずにチャレンジを厭わない」「周りを巻き込んで活動する」など、自律的に行動し、周囲によい影響を及ぼせる中核リーダーの養成を行うことが、個々人の・組織の「元気」回復に寄与します。そのようなマインドを身につけるための方法論を、応用スポーツ心理学のメソッドで学びます。

参加される事務長先生方には本研修を通じて、各種環境変化に「主体的に」取り組むための土壌を作っていただき、1人でも多くの事務職員が自発的にやる気を持って仕事にあたる組織作りあるいは活性化の一助になれば幸いに存じます。

時節柄ご多忙のこととは存じますが、多くの皆様が参加されますよう下記によりご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成26年11月27日(木) 14:00 ~ 16:00 (予定)
2. 会 場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)会議室(案内図参照)
千代田区九段北4-2-25 電話03(3261)9921(代)
3. 内 容 「事務局組織の活性化 働きがいのある職場作り」

①参加者本人の感情やストレスをコントロールするスキルを学び、職場でも私生活でも、逆境や困難に適応する「心の力」を身につけることが出来、あわせて、それを職場に展開するコーチングスキルを身につけます。

②職場へ展開することで、組織(チーム)としての意識を高め、校内人間関係改善など、周囲も巻き込みながら、組織に活力を与え、元気にできるコミュニケーションが取れるよう目指します。また、業務で十分なパフォーマンスを発揮できずにいる事務職員に対しても、他者との関係を見直し、トレーニングによりポジティブな心を持たせるスキルも学びます。

4. 講 師 布施 努(ふせ つとむ)氏

【プロフィール】



榊Tsutomu FUSE, PhD Sport Psychology Services 代表取締役、米国スポーツ心理博士、ノースカロライナ大学グリーンズボロ校大学院 博士号取得(組織心理学)。早稲田実業高校、慶應義塾大学では野球部に所属し、高校時は甲子園で準優勝、大学時は全国大会優勝を経験。卒業後、住友商事に14年間従事。その後渡米し、米国五輪組織やNFL数球団にて指導するスポーツ心理学の世界的権威のDr. Gouldを師とし、最先端のスポーツ科学をベースにしたフィールドでの組織・チーム作り/パフォーマンス向上のスペシャリスト。コレクティブ・フロー組織モデルにてDr. Gouldが博士号を認めた唯一の日本人。

大学院ではUSA五輪チームやNFL、NHLの組織・チーム作りのリサーチ・コンサルティングを行い、帰国後、慶應義塾大学、筑波大学、J R東日本、Jリーグチームなどでチーム作り・リーダー指導を行い、チームを短期間で全国大会優勝に導くなど確実な結果を残す。

ビジネスの世界においても日本銀行、みずほ銀行、全日空、東芝、監査法人トーマツ等の大手企業チームビルディング、組織パフォーマンス向上、リーダー力向上、ライフスキルのトレーニングを実施するなどスポーツからビジネスまで幅広い分野での組織作りの指導を行っている。

慶應義塾大学スポーツ医学研究センター研究員、NPO法人ライフスキル育成協会代表。

【主なトレーニング指導チーム】※プロチーム・選手は守秘義務により記載せず

慶應義塾大学体育会野球部(優勝複数回)、ヨット部(12インカレ優勝)、テニス部(13、14インカレ優勝)、筑波大学野球部(07優勝)、東京大学ラグロス部(08準優勝)、桐蔭学園高校ラグビー部(14準優勝)、J R東日本野球部(07年都市対抗準優勝)、旭鋼管工業(10年天皇賜杯全国軟式大会準優勝)など。

【主なトレーニング指導組織】

東芝、トーマツ、近藤工業、ホテルニューオータニ幕張、セコムホームライフ、ファイザーなどで長期トレーニング。HOYA、HOLT ジャパン、企業年金連合会、みずほ銀行、デザインフィルなどで短期トレーニング。キリンホールディングス、岐阜新聞、日本臨床スポーツ医学学会、富士医師会などで講演会。

【著書】

『ホイッスル! 勝利学』(集英社、2009年)

『スポーツ精神医学』(診断と治療社、分担執筆、2009年)

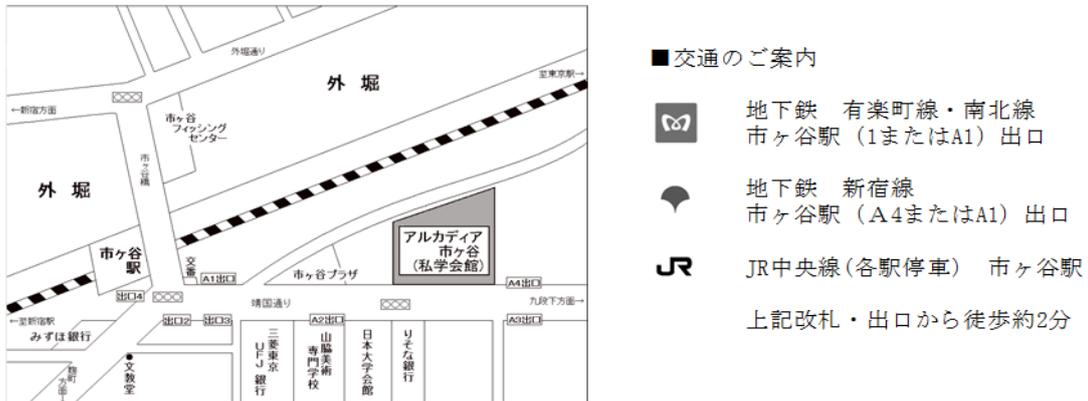
『実践例から学ぶ競技力アップのスポーツカウンセリング』(大修館書店、共訳、2008年)

5. 定 員 50名 (申し込み順 ⇒ 定員になり次第締め切ります)
6. 参 加 費 無 料 (当協会会員各校の拠出金と東京都私学財団からの補助金で運営しております)
7. 申 込 方 法 11月14日(金)までに下記宛にWeb もしくはFAXにてお申込みください。

URL [http:// k.tokyoshigaku.com](http://k.tokyoshigaku.com)

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会
 東京私学教育研究所・私学経営研究会 (担当：船江・佐瀬)
 TEL 03 (3263) 0544 FAX 03 (3263) 0560

[案内図]



切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

私学経営研究会「事務長研修会」 参加申込書 [11月27日(木)実施]

学 校 名	ふりがな 氏 名

上記の通り参加申し込みいたします。
 東京私学教育研究所 御中

平成26年 月 日

校 長 _____ (印)

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略いたします。(本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です)
 申込確認が必要な方は、下記にご記入ください。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号:
-----	--------

参考

【布施氏の研修を受けた受講者の声】 当協会研究所主催の研修ではありません。

- ✓ 受講前と後では考え方が180度変わり、マイナス面をプラスの方向に持っていけるようになった。
- ✓ 周りを意識しすぎず、自分が何をやれば良いのかを自分の力で考えられるようになった。
- ✓ プレッシャーを楽しめるようになった。
- ✓ 自分ひとりではなく、チームとして競技に望むことが出来た。
- ✓ 受講して、今後の人生に大きなプラスになったと思う。
- ✓ 成長できた。精神疾患の完治が早まった要因と考えている。4半世紀以上の勤続年数があるが、これほどためになったと思った教育はない。
- ✓ まだ続けたい、まだまだ続けたいという気持ちが自然とわいてくるので。具体的には、自分を見つめなおすいいキッカケになったことが大きいです。物事を他人事とせず、自分の問題と捉えることによって、取り組み姿勢や考えが変わった。
- ✓ パフォーマンスの大きさが心の状態に大きく左右されることを学んだので、常に(出来るだけ)心がネガティブな状態に陥らない様、意識してコントロールする(努力してコントロールする)様になった。
- ✓ 自らの夢や希望に基づいた目標を設定し、厳しい状況下でも、人や環境のせいにして逃避的に考えるのではなく、その時のベストを尽くして、一步一步確実に前進することを学びました。
- ✓ 組織の中で和合が生じる頻度が上がった様感じた。
- ✓ この人に何が必要かを考えて指示と支援をすることが出来るようになった。指示と支援の違いが判ったことが大きな進歩だと感じる。
- ✓ 自分とはタイプの違う他者を理解できるようになった。自分の伝えたいことを言葉で伝えやすくなった。